

2015年 7月 4号



設計者選定206名参加 公開ヒヤリング秋田市

秋田市役所本庁舎の設計者選定は公開だった

「奇をてらわずシンプルなものに努めました」
との秋田市担当者の説明が印象的でした。

無所属クラブで本庁舎建設に関し、秋田市
と東京豊島区の視察を行いました。

秋田市は現在、地上6階、地下1階、塔屋
1階の本庁舎、115億9000万円、日本
設計、清水建設・千代田・シブヤ・田村JV
で建設中。建設計画は古く、昭和63年から
検討を始めています。他庁舎の再利用なども
含めて検討を繰り返し現在。平成9年には、
200億円の想定もありましたが、見直しを
繰り返し、平成25年5月95億9909万
円入札不調。7月105億4434万円でも
入札中止。そして11月に上記金額で落札。
と、苦労の後が見えます。

「人口が減っていくのが明らかですので、建設直後は少し手狭な面積です。20年後
でちょうど良くなります。」の説明。「あまり変わった建物は希望せず、普通のものにし
ました。」「水害対策で、電気機械室などは最上階6階へ配置しました。」など、検討期
間が長く「市民100人会」組織での意見募集の努力も多くされているようでした。

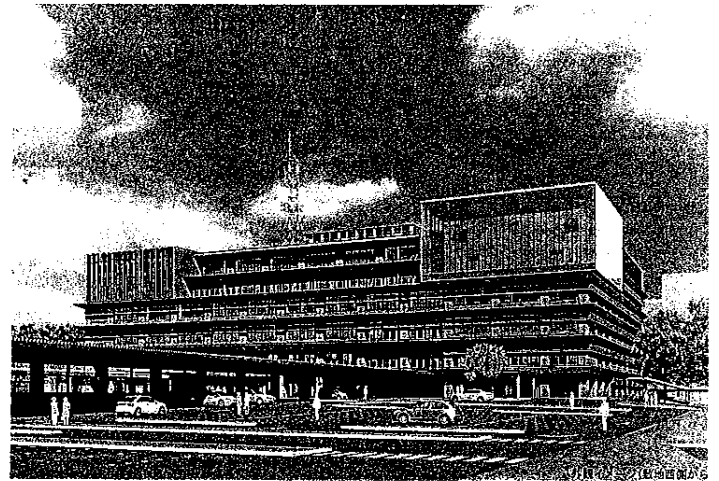
参加者の感心を呼びましたのは、設計プロポーザルの技術提案公開ヒヤリングです。
「設計者選定」を公開で行い、206名の参加があったとのことでした。過程を計画段
階から極力公開する姿勢には感心しました。

現在の建設課題は、地元経済貢献の提案が確実に履行されているか、工事の進捗に合
わせて確認。インフレスライド2回目を想定している。消費税など予算増額は必要にな
るとの心配を説明されました。工期は平成28年4月28日です。

雨漏りの無い普通の市役所が良い。・・・と思います。(M)

連絡先 岐阜市会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

秋田市新庁舎建設工事 概要



国立競技場と岐阜市

安保法制が強行採決されるのを待っていたかのように、国立競技場建設の見直しが浮上しました。1000億円以上もの金額が上乘せ必要と判明しても、動き出したプロジェクトは、安保法案強行採決までは止めることが出来ませんでした。計画された「危険は分散せよ」の原則でしょうか。あるいは、無計画な内閣支持率急落への焦りでしょうか。建設計画の「責任者不在」が話題になっています。

デザインを決定したA代表者がテレビに出て見えて、「私はデザインを決めただけ」と話されていました。岐阜市の国際会議場を設計されたAさんだが、テレビを見ていて岐阜国際会議場の不具合が思い出される。「出口がわからず、職員に聞いた」とは本当だろうか。建築家Iさんもテレビの前で評論をされていた。Iさん設計のメディアコスモスの雨漏りは直ったのだろうか。少なくとも屋上は、今もボコボコのままである。

建設・総務・文教の各委員会で話題となった「感謝状贈呈」は無しになったようです。